

平成 20 年 3 月 18 日

受益者の皆様へ

DIAMアセットマネジメント株式会社

当社ファンドの3月18日の基準価額下落について

昨日のアジア株式市場に大きな変動があり、本日、当社の下記ファンドにおいて基準価額が大きく下落いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 主要株価指数および下落率

主要株価指数	終値 (3月17日)	前日比	下落率
ハンセン中国H株指数	11,037.09	854.33	7.18%
ハンセン中国レッドチップ指数	4,567.74	281.86	5.81%
ベトナムVN指数	615.71	28.09	4.36%
ジャカルタ総合指数	2,312.321	71.099	2.98%
フィリピン総合指数	2,793.68	112.85	3.88%

(基準価額への反映を考慮して前日の値および下落率を表示しております。)

2. 基準価額および下落率(3月18日現在)

ファンド名	基準価額(円)	前日比	下落率
中国株・成長好配当 2006-12	8,571	643	6.98%
DIAM中国関連株オープン	15,597	1,177	7.02%
DIAMVIPフォーカス・ファンド	7,434	405	5.17%

DIAMアセットマネジメント

商号等: DIAMアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
 加入協会: 社団法人投資信託協会 社団法人日本証券投資顧問業協会

当資料は3枚ものです。

P.3の「本資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

3. 株式市場下落要因および今後の見通し

昨日の中国・アジア株式市場は大幅安となり、ハンセン中国H株指数が 7.18%、ハンセン中国レッドチップ指数が 5.81%、ベトナムVN指数が 4.36%、ジャカルタ総合指数が 2.98%、フィリピン総合指数が 3.88%でそれぞれ取引を終えました。

先週末にかけて米証券大手のベア・スターンズが米銀大手のJPモルガン・チェースに救済買収されると報じられ、米国発のサブプライムローン（信用力の低い個人向けの住宅ローン）問題の深刻さが改めて認識されたことや、いわゆる円キャリートレード（低金利の円で資金を調達し、高金利の通貨で運用する手法）の巻き戻しの動きから、資本市場での需給悪化が懸念され大幅安の展開となったものです。

サブプライムローン問題については、一部の中国・アジアの銀行が引当金の増加といった形で影響を受けておりますが、全体的な財務インパクトは限定的であり、中国・アジア経済への直接的な影響についても限られたものととどまっております。しかしながら、先週末のベア・スターンズのニュースに代表されるように、欧米の金融業界は当問題に直撃されており、その結果、欧米の景気見通しが低下しております。いずれも中国・アジアにとっては重要な輸出先であるために、今後は輸出の伸び率低下という形で中国・アジアにも悪影響が出てくるのではないかと、この懸念が高まっているのが現状と思われまます。

そうした中で、現在中国・アジア企業の決算発表が本格化してきており、足元の業況が従来以上に注目を集めております。これまでのところ不動産開発会社の一部で金融引き締めの影響から業績見通しを若干下方修正するような動きも見受けられますが、そうした例外を除けば実績として出てくる数値は全般的に良好な内容になっております。ただ足元では投資家心理が極端に悪化しているために、素直に好業績を評価するというムードにはなりづらく、むしろ先行きを心配してしまうというのが今の地合いであるようです。

一方で、これまでの相場下落の過程で幅広い業種・銘柄において株価の水準訂正が進んでいる結果、成長力との見合いで割安感が際立つ銘柄も散見されるようになってきました。しかし相場全体としては、米国発のサブプライムローン問題が混迷を深める中、引き続き不安定な動きが予想されます。従いまして、外部環境には引き続き細心の注意を払いつつ、割安感の出てきた優良銘柄は積極的に買いを入れていくというスタンスで運用にあたっていく方針です。

以上

DIAMアセットマネジメント

商号等： DIAMアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
加入協会： 社団法人投資信託協会 社団法人日本証券投資顧問業協会

当資料は3枚ものです。
P.3の「本資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

[お申込みに際しての留意事項]

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式・公社債及び不動産投信(REIT)等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては 投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧下さい。

投資信託に係る費用について

ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。

申込時に直接ご負担いただく費用	: 申込手数料 上限 3.15% (税込)
換金時に直接ご負担いただく費用	: 信託財産留保金 上限 0.5%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	: 信託報酬 上限 1.869% (税込)
その他費用	: 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

投資信託説明書(交付目論見書)等でご確認下さい。

(ご注意)

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、DIAMアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率を記載しております。

[本資料のお取扱いについてのご注意]

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。

当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

投資信託は、株式・債券及び不動産投信(REIT)等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

当資料における見解はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

投資信託は

1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

DIAMアセットマネジメント

商号等: DIAMアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会: 社団法人投資信託協会 社団法人日本証券投資顧問業協会

当資料は3枚ものです。

P.3の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。